

《まめ知識》



鑄掛屋(いかげや)さん

2010年2月

“鑄掛(いかげや)屋さん”とはどんなお仕事かご存知ですか？恐らく、若い方でご存知の方は少ないのではないのでしょうか。

“鑄掛屋さん”というのは、鍋や釜などが毎日使っているうちに穴が開いてしまったとき、その穴の部分に金属を溶かして流し込んで修理してくれる職業の人のことを言います。江戸時代から戦後間もない頃までは、修理道具を持って町中を歩く姿が見られたそうですが、鍋、釜の品質も良くなり、大量生産が可能になった今の豊かな時代ではすっかり姿を消してしまいました。

昔は鍋や釜などの金物を大事に何度も何度も修理して使っていたそうですから、“鑄掛屋さん”は、当時なくてはならない大切な存在だったのでしょうね。

物のない時代では、「そうするしかなかったから、そうしていた」のかもしれませんが、物が溢れている今の時代、「何度も修理をして使い続ける」という意味では、環境問題のことを考えても見習うところがあるかもしれませんね。

ところでお気づきでしょうか？“鑄”というのは、「金属を溶かし、型に流し込んで形を造る」という意味。

『鑄造(ちゅうぞう)』といえば、弊社でも取扱っている技術です。

必要とあらば、是非弊社にお声がけ下さい！

* 鑄掛屋は、落語や時代小説にはよく登場しますので、今回“鑄掛屋”をご存知なかった方は、ちょっと気にしてみると「あっ！」と思うかもしれません！

Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)